

苦情事例登録用紙

登録 No. NI-19- 002

登録日 2020 年 1 月 20 日

商品名	分類 I	分類 II	分類 III	分類 IV	分類 V	苦情原因・ 現象の分類	外観変化
パンツ	紳士	外衣	織物	外観	ドライ		
表示事項	組成		取扱い		付記用語	・毛玉が発生することがありますが、生地をいためないように毛玉取り機などで刈り取って下さい。 ・ドライクリーニングは水分を極力避け、短時間処理をお願いします。	サイズ
	表地 綿 61% 毛 24% ポリエステル 14% ポリウレタン 1% 裏地 ポリエステル 100%				その他		原産国
苦情内容	(消費者 → アパレル) ・2年程度の着用で、全体的に黒い繊維の毛玉が発生した						
外観	・商品全体にわたって、黒い毛玉が発生している (図1)						
聞き取り・調査結果	①商品の外観 ・毛玉の繊維組成を確認する。毛玉の発生状況を確認する ・毛玉の発生している部位を観察する。部分的か全体にわたって発生しているか ②表示 ・付記用語で毛玉について触れている。事前試験のピリングの結果が悪くなかったと思われる ③着用/取扱い状況 (消費者への聞き取り) ・消費者の取扱い状況 (着用頻度、洗濯回数など) ④材料特性・染色 ・生地組織や糸使いを確認する						
検討事項	①商品の外観 ・局部的ではなく全体的に黒い毛玉が発生している。ただしポケット口や内股は毛羽が脱落している。ウールが脱落して表面がつるつるしている ・拡大観察から毛玉の組成はポリエステルが主になっている ・最も新品に近い部分を観察すると、やや起毛されていると思われる ②着用/取扱い状況 ・ポケット袋がきれいなので着用頻度は多くなかったと思われる ③再現試験 ・在庫品を使用してピリング試験 (JIS L 1076 A法) を行う						 <p style="font-size: small;">図2 拡大観察 毛玉の組成はポリエステルが中心</p>
苦情原因	①繊維組織がやや浮いていたため (ヘリンボン部分)、着用やドライクリーニング時に摩擦作用の影響を受けやすかった ②風合いを重視した素材。よこ糸 (黒) を抜いて観察したところ、撚りがやや甘いため耐ピリング性に劣るのではないか ③毛玉は黒い繊維が中心で本体生地と色差があり目立ち安かった						<p>< 苦情部分の写真 ></p> 
今後の対策	①テキスタイル ・毛については撚りを強くして毛羽を出さないようにする ・毛/ポリエステル混用素材の場合、抗ピルタイプのポリエステルを使用する ②アパレル ・ヘリンボン等浮き組織は色差のある糸を使用しないようにする ・白×黒はコントラストが強くて欠点が目立ちやすいので、コントラストの弱い色の組み合わせにする ③試験 ・ピリング試験 (JIS L 1076 A法) を確実に実施するとともに、布帛であれば3時間、5時間など短時間の試験を行い、途中経過を観察する ・織糸に色差がある素材の場合、ピリングの目立ち安さも含め判断する						
その他	<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">トピックス</div>						<p>図1 苦情品の外観</p>